

両国高校で“夢、をつかもう！”

“第一志望大学への進路実現、これが本校の進路指導の第一目標です。例年多くの生徒が本校の授業を通して自分の夢を実現しています。特に本校の自慢は現役での国公立大学への進学率の高さ。伝統的に国公立大学志望者の多い本校では、毎年卒業生の3人に1人前後が現役で国公立大学へ進学しており、これは全都立高校の中でもトップを争う高い割合です。もちろん早・慶・上智を始め、有名私立大学へ進学する生徒もたくさんいます。

基礎基本の充実 予備校に頼らない授業

そんな両国高校の1日は始業前の朝学習から始まります。本校では中学1年生から高校3年生まで、毎日基礎的な内容を確認する小テストや演習を行っています。その他、定期考査後の追試験、長期休業明けの宿題テスト、提出が求められる授業の課題もたくさんあります。毎日こつこつと少しずつ！でも、その積み重ねがやがて難問に立ち向かうときの土台になるのです。“アクティブ・ラーニング、で知られる両国高校ですが、まずは、基礎基本の充実。実はこれこそが自前で高い合格率を生み出す秘訣なのです。

発展的教育活動の展開 未来へ向けての飛躍

両国高校といえば“アクティブ・ラーニング、！ 本校では従来の講義型の授業に加え、生徒自らが能動的に学習するアクティブ・ラーニング型の授業が盛んに行われています。他者と共同して作業を行うペアワークやグループワーク、多くの人の前で行うスピーチやプレゼンテーション、こういった様々な学習活動を組み合わせて、あらゆる場面に対応できる実践的な学力を身につけていきます。もちろん、こうした高度な学習活動を行えるのは、一人一人に“確固とした基礎知識、が備わっているからです。“基礎基本の充実、と“発展的教育活動の展開、これが両国高校の授業の両輪です！